



2021 年度 活動報告書

(2021.04.01—2022.03.31)

I. 活動報告

1. 活動成果

2021 年度は、感染拡大防止対策を徹底しながら、セルフヘルプ事業や SIAb.プロジェクト事業をできる限り継続して行った。

まず、セルフヘルプ事業は、会場の使用が制限され開催回数や参加人数減少する中、オンライン・ピアミーティングの管理人が増えたことで開催回数が増え、また、ワークショップとして朝カフェやヨガも開催し、結果、新たに 50 人強の人が繋がった。

SIAb.プロジェクト事業では、コロナ禍で実施が延期になっていた「令和 2 年度 キリン・活動福祉のちから開拓事業」の出張イベント、「回復へのツナガリを探して～近親姦（近親者及びそのパートナーによるレイプあるいは性的虐待）の被害当事者と一緒に語り合おう～」を水戸と福岡で開催することができた。

さらに、イベントの動画をオンデマンド配信し、アンケートの集計をホームページから共有することができたことは、社会へ SIAb.の活動について理解を得る機会が増えたといえる。

他には、屋外での開催を初めて試みたイベント「サイレント・ウォーキング」も開催できた。反省点や改良点が多かったが、今後、屋外での活動をする際に活かしていきたい。

一番の成果は、コロナ禍前と大きく違い、地方在住のチームのメンバーも含め、運営会議をはじめ、各プロジェクトの開催準備等をプロジェクト・チーム全員で行うことができたことである。イベント終了後も、振り返りや水戸と九州でのグループ立ち上げについて話し合うことができた。

そして、2022 年度から水戸グループ、北九州グループとして始動することが決定したことは大きな成果であったといえる。

さらに、これまでの活動が評価され、公益財団法人 社会貢献支援財団さまのお引き合わせにより、一般財団法人 阿部 亮財団さまからパソコン等の寄贈や 2022 年度から 3 年間分の活動費の一部ご支援をいただけた。

2. Self Help 事業

- 1) ピアミーティングは、万全な感染防止対策を取りながら、デイグループを 7 回開催、ナイトグループ・シブヤを 20 回、ナイトグループ・シモキタ 会場開催を 10 回／オンラインミーティングを 56 回開催した。ワークショップは、新たにさいたま市で会場を確保しクラフトを 3 回開催、オンラインで朝カフェを 183 回、ヨガを 23 回開催した。
- 2) 来年度から水戸と北九州でピアミーティンググループの増設が決定した。それに伴い既存グループの名称を開催地／デイもしくはナイトと変更し、分かりやすいようにした。
- 3) 埼玉県大宮市や福岡県北九州市、茨城県水戸市で会場の使用申請許可を得ることができた。

3. SIAb. Project 事業

- 1) イベント「当事者のための居場所づくりについて考える～近親姦（近親者及びそのパートナーによるレイプあるいは性的虐待）の被害の当事者とともにみんなで語り合おう～」(令和 2 年度 キリン・福祉のちから開拓事業) 助成事業) を、水戸で 5 月 18 日・19 日、福岡で 7 月 14 日・15 日に会場とオンラインのハイブリッドによるイベントを開催した。
- 2) 既存の動画の継続配信と、新しく水戸イベント・福岡イベントの動画を配信（視聴希望者のみ）を始めた。
- 3) 「サイレント・ウォーキングイベント」を、11 月 23 日に開催した。
- 4) ホームページの見直しと改修を行った。

4. 管理部門

- 1) 経理担当者を選任し、経理のチェックを月例で行うこととした。
- 2) キャッシュレス決済での献金および寄付を可能にした。
- 3) 預金口座の用途を変更し、管理しやすいようにした。
- 4) 助成や寄付で購入したパソコンの貸与使用承諾書を作成した。

II. 事業報告

1. Self Help 事業

当事者が問題を共有できる仲間と出会い、場の力と時間を共有できる「ピアミーティング」と「ワークショップ」を開催している。

1) ピアミーティング

ピアミーティングは、参加経験のある当事者たちで作るプログラムに則って行われる。その日のファシリテーターの進行のもと、参加者ひとりずつが順番に話し役になり、自分の経験や現在の状況、思いなどを誠実に語り、それを他の参加者が傾聴する。

2021 年度の開催回数および参加人数

グループ名	開催回数 (回)	延べ参加 人数 (人)	内初参加 人数 (人)	平均参加 人数 (人)
Day Group	7	19	4	3
Night Group/シブヤ	20	55	9	3
Night Group/シモキタ (対面開催)	10	20	3	2
Night Group/シモキタ・オンラインミーティング	56	323	38	6
ピアミーティング合計	93	417	54	4

2) ワークショップグループ

ワークショップでは、学びや手作業でのものづくりを楽しんだり、エクササイズで体調を整えたりしながら、参加した当事者たちと安全な時間と場を共有する。シェアミーティングが「自分と向き合う時間」とすれば、そうでない「日常の時間」を大切にする場という位置付けであるため、被害について話す必要はない。なお、各グループの詳細は以下の通りである。

ワークショップ参加人数集計表

グループ名	開催回数 回	延べ参加 人数 人	初参加人数 人	平均参加 人数 人
クラフト	3	8	1	3
朝カフェ	183	246	3	1
ヨガ	23	40	0	2
合計	209	294	4	1

*ソフトパステル：休止中

*クラフト（年度中ペーパーキリング → ペーパーキリング&クラフト → クラフトに改名）

2. SIAb. Project 事業

コロナ禍の影響で、助成申請時の企画内容から大幅に変更した。まず、当初全国4か所でイベントを開催するところを、水戸と福岡2か所に。また、Zoomを使用してオンラインミーティングやオンライン・カフェ、Skype電話を使用して傾聴を行った。また、運営会議や経理担当者会議、助成イベントの準備会議もオンラインで開催し、今後の運営をよりよくするための基礎作りやホームページの改修を行い、参加する方が安心、安全感を持てるよう充実させた。

1) キリン・福祉のちから開拓事業

*2021年3月31日で助成事業としては終了したが、コロナ禍でイベントのみ本年度開催をした。

オンラインによるミーティングは引き続き需要があったため2021年度も継続している。

① 水戸イベント

		第1部 シンポジウム	第2部 ピアミーティング	第3部 ピアミーティング
日時		5月18日 14:00~16:30	5月18日 18:00~20:00	5月19日 13:00~15:00
会場		水戸アマカス/Zoom	水戸市内貸会議室	水戸アマカス
参加人数	会場	7名	7名	7名
	オンライン	15名	- - -	- - -

② 福岡イベント

		第1部 シンポジウム	第2部 ピアミーティング	第3部 ピアミーティング
日時		7月14日 13:00~15:30	7月14日 会場 17:00~18:50 オンライン 19:00~20:50	7月15日 12:15~14:05
会場		・Zoom ウェビナー (クローバープラザ)	・クローバープラザ ・Zoom (宿泊ホテルから)	福岡市内貸会議室
参加人数	会場	18名	5名	8名
	オンライン	26名	13名	- - -

2) ホームページ等からの情報配信活動について

当事者同士で語り合い、協力し合いながら、回復を目指す活動を周知することによって、当事者が孤立することを回避するための情報を、引き続きSIAb.のホームページから発信した。

被害当事者や加害当事者、サポートをして下さる方々、治療や公的支援に携わる方々、また、関係機関や社会全体で盛んな議論や活動が展開されて、治療方法や予防方法が日々検討されていくような社会をつくるための働きかけを続けた。

① ホームページのリニューアル

・献金や寄付金のお振込み方法にキャッシュレス決済が加わるため改修

② 既存の動画の配信継続

- ・Series1 = SIAb.のメンバー3人(近親姦虐待被害当事者)での語り合いを収録
- ・Series2 = 近親姦虐待被害当事者、加害行為経験者、双方の治療に携わる人の語り合いを収録
- ・Series3 = 実際のSIAb.シェアミーティングとフェロウシップの様相 (1)(2)

III. 2022 年度（令和 4 年度）活動計画

2022 年度は、衛生面も気をつけながら、引き続き継続的なミーティングやワークショップの開催をする。また、4 月から福岡市、9 月頃から水戸市でグループが立ち上げに向けての準備や、その告知を行う。グループ増設前後の運営上の問題点や見直すべき点について検討し、改善をする。

また、2023 年は SIAb.活動開始 10 周年目となるので、記念企画を検討し、プロジェクト・チームを立ち上げて準備する。

1. Self Help 事業

- ・ 水戸グループ、福岡グループ（どちらも仮称）始動の準備
- ・ SIAb.の各文献についての見直しと必要があれば改修
- ・ SIAb.のルールやプログラム、詳細などについての見直しと必要があれば改修。

2. SIAb. Project 事業

- ・ 新しい動画の作成、公開
- ・ 10 周年記念の企画およびプロジェクト・チーム立ち上げと準備開始
- ・ キリン福祉のちから助成事業のオンラインミーティングの今後についての話し合い

3. 管理部門

- ・ キャッシュレス決済の導入
- ・ 口座用途の見直し
- ・ クラウド会計導入
- ・ 会計の簡素化